

## 家庭教育支援チームの活動事例

### ◆事例1：子育て講座による温かいつながりとひろがり！ (山陽小野田市家庭教育支援チーム/山陽小野田市)

**活動内容** 就学時健康診断という多くの保護者が集まる機会を活用し、子育て講座を行っています。家庭教育や子育てに関する情報提供や、不安・悩みの共有を行うとともに、支援チームメンバーと保護者、保護者同士の温かいつながりをコーディネートします。このつながりがさらに広がるよう、入学後も保護者に寄り添う活動を行っています。

**活動拠点** 山陽小野田市内全小学校 (12校)

**メンバー** 家庭教育アドバイザー、主任児童委員、民生委員児童委員、地域コーディネーター、保護者等



子育て講座でのサロン

### ◆事例2：中学生と赤ちゃん・お母さんとのふれあい&交流！ (湯田中学校ひろば/山口市)

**活動内容** 家庭教育支援チームとして、中学校の既存の教室を活用した「湯田中学校ひろば」を週1回開設しています。昼休みに生徒が乳幼児や母親と交流し、充実した時間を過ごしています。また、月に1回参加した親子を対象に湯田中学校教職員等を講師とした講座(例：筆ペン、人形劇、タッピンググタッチ)も行っており、ふれあい・交流の輪が広がっています。

**活動拠点** 湯田中学校視聴覚室

**メンバー** 湯田中学校教職員、子育て支援交流広場ちゃ☆ちゃ☆ちゃ(子育て支援団体)



乳幼児とのふれあい

### ◆事例3：家庭訪問でしっかり聴いて支えます！ (平田の子どもたち元気応援チーム/岩国市)

**活動内容** 小学校を活動拠点として学校との連携を図り、家庭訪問を通じた子育てに関する相談や情報提供など、保護者の元気、子どもたちの元気を支える取組を行っています。また、月1回おしゃべり広場「ほっこり」を開いて交流会を行うなど、保護者同士や家庭・学校をつなぐ一役を担っています。

**活動拠点** 平田小学校

**メンバー** 教員OB、保育士OB、保健師、スクールソーシャルワーカー等



訪問後のケース会議

### ◆事例4：支援につなぐ情報提供！ (こどもえがおサポートチーム/宇部市)

**活動内容** スクールソーシャルワーカーをリーダーに、地域ボランティア「こどもえがおサポーター」が中学校区ごとにチームを組み、家庭訪問等によりリーフレットを配付したり、不登校などの問題を抱える家庭の相談に応じたりするなど、課題の解決に向けたお手伝いをしています。

**活動拠点** 宇部市内3中学校区(3中学校・6小学校)

**メンバー** スクールソーシャルワーカー、こどもえがおサポーター



配付するリーフレット

## 「やまぐち型地域連携教育」の仕組みを生かした家庭教育支援チームイメージ



※「地域協育ネット」とは、幼児期から中学校卒業までの子どもたちの15年間の育ちや学びを地域ぐるみで見守り、支援するためのおおむね中学校を1まとまりとした仕組み

## 地域につくろう

# 家庭教育支援チーム

～ 地域のつながりで支える家庭教育 ～



家庭教育は、全ての教育の出発点です。

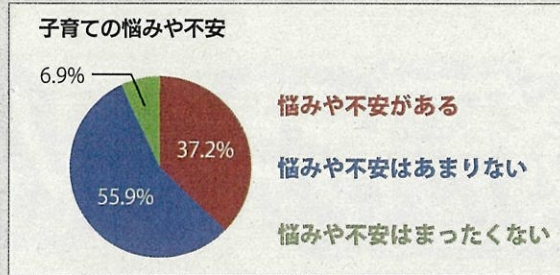
このリーフレットは、家庭教育支援チームを新たにつくる際に役立つ情報やノウハウをまとめたものです。このリーフレットを活用していただき、山口県全体に家庭教育支援の輪が広がることを期待しています。

【連絡先】 山口県教育庁 社会教育・文化財課 家庭・地域教育班  
〒753-8501 山口市滝町1-1  
TEL:083-933-4661 FAX:083-933-4669



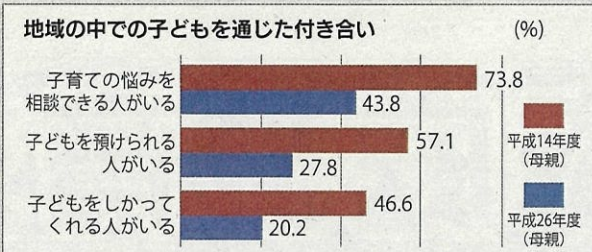
## 家庭教育・子育ての現状

●約4割の保護者が子育てに悩みや不安を抱えています



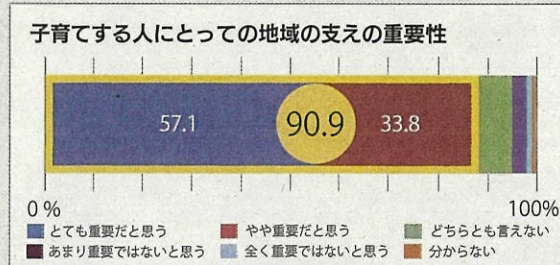
文部科学省委託調査「家庭教育の活性化に関する特別調査研究」(平成20年度)

●地域のつながりが希薄化しています



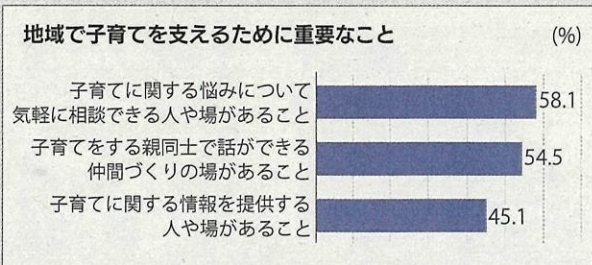
(株)UFJ総合研究所「子育て支援策等に関する調査研究」(厚生労働省委託調査)(平成14年度) 三菱UFJリサーチ&コンサルティング「子育て支援策等に関する調査研究2014」(平成26年度)

●約9割の保護者が子育てについて地域の支えが重要だと思っています



内閣府「家族と地域における子育てに関する意識調査」(平成25年度)

●多くの人が子育てに関する相談や交流のできる人や場があることが重要だと思っています



内閣府「家族と地域における子育てに関する意識調査」(平成25年度)

地域の身近な存在として、保護者と同じ目線で寄り添う支援が必要です

## 今、地域で家庭を支える家庭教育支援チームが求められています

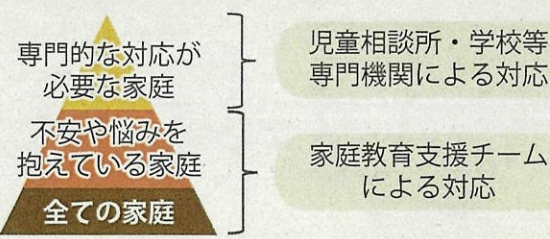
チーム員が役割分担することで、組織的・継続的な活動が可能になります

### 家庭教育支援チームとは？

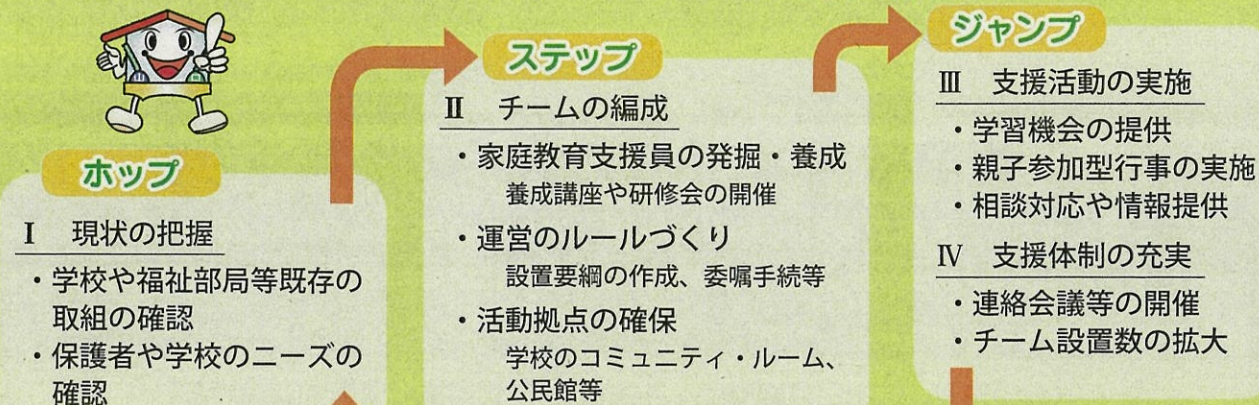
身近な地域で、様々な取組や講座などの学習機会を提供したり、親子で参加する行事を実施したり、子育てや家庭教育に関する相談対応や地域の情報などの提供を行ったりします。

ときには、学校や地域、教育委員会などの行政機関や福祉関係機関と連携しながら、子育てや家庭教育をサポートします。

### 支援の対象イメージは？



### 家庭教育支援チームを形成するには？(下記は一例です)



## 家庭教育支援チームの活動内容

家庭教育支援チームは、学校、公民館、市町教育委員会等を活動拠点として、子育て学習会や親子参加型の行事などの支援活動を行います。また、支援チーム員が家庭を訪問して個別の相談対応や情報提供を行うことも考えられます。

地域の実情や保護者からのニーズ、チーム員の得意分野に応じて、こうした活動の中で、できるものから始めていくことも可能です。

### 学習機会の提供

就学時健康診断や保護者会など多くの保護者が集まる機会を活用し、子育てや家庭教育などに関する学習機会を提供します。

【活動例】

- ・新入児一日入学時の講座
- ・子育て学習会

【活動事例】

山陽小野田市家庭教育支援チーム

### 親子参加型行事の実施

親子や地域のつながりを深めるために、親子参加型行事を展開します。

【活動例】

- ・乳幼児や保護者と中学生のふれあい行事
- ・親子による清掃ボランティア

【活動事例】

湯田中学校ひろば(山口市)

### 相談対応

保護者が抱える悩みや不安に耳を傾け(傾聴)、求められれば必要な助言を行います。

【活動例】

- ・学校のコミュニティ・ルーム等を活用した相談対応
- ・家庭訪問による個別の相談対応

【活動事例】

平田の子どもたち  
元気応援チーム(岩国市)

### 情報提供

子育てや家庭教育に関する様々な情報(学習機会、親子参加型行事等)を提供します。

【活動例】

- ・家庭教育に関する情報紙の発行
- ・家庭訪問による情報紙の配布

【活動事例】

こどもえがおサポートチーム  
(宇部市)

### 専門機関への橋渡し

相談対応や情報提供などの取組では対応が難しいケースについては、中途半端な対応がかえって問題を深刻化させることもあります。したがって、このようなケースについては、問題に応じた専門機関と情報を共有し、支援をつなぐことが必要です。